

市場動向

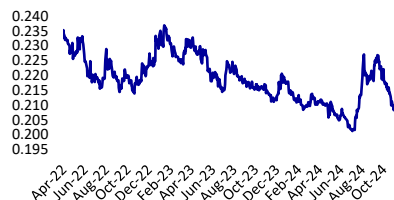
■USD/TWD



■USD/JPY



■JPY/TWD



■EUR/USD



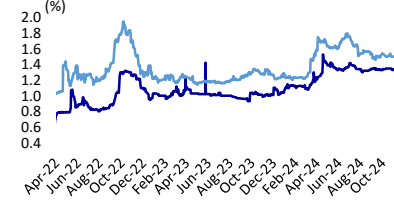
■USD/CNH



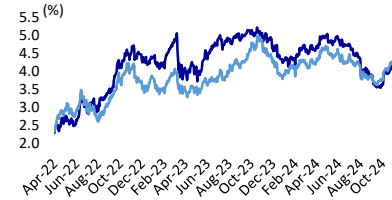
■台湾加権指数



■台湾国債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のドル/台湾ドルは上昇。週初11/11は32.140でオープン後、台湾株が下落したことを背景に、ドル売りが見られたものの、輸出企業の様子見姿勢が強い中、ドル売り余地は限定的。11/12は、トランプトレードが継続する他、台湾株が前日比547.87ポイント安となったことを受けて、ドル買いが優勢な展開となり32.425まで上昇。11/13は、グローバルにドル買いが進んだ他、台湾株が下落したことを受けて、32.40台半ばまで上昇。11/14は、前日海外時間に発表された米国10月CPIが市場予想通りとなったことを受け、グローバルにドル買いが進んだ。、32.250近辺まで下落。また、台湾中銀の楊総裁はトランプ氏が掲げる政策について「不確実性が高まったため、極めて緊張感をもって注視していく」との見解を示し、ドルは32.546まで上昇。11/15は、パウエル議長の力派的発言を受けて、ドル買いが進み、32.620まで上昇。午後、ドルが売り戻され、ドル/台湾ドルは32.464まで下落。最終的には前週比1.09%ドル高台湾ドル安の32.466で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は110.2億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のドル/円は上昇。週初11/11は152.62でオープン後、日銀金融政策決定会合の主な意見において「経済・物価見通し実現していけば、緩和度合いを調整していく」とのスタンスが示された。海外時間に入ると、米国休日で材料に乏しい中、153円台後半で揉み合いの推移。11/12は、トランプトレードが加速する中、ドル買いが優勢な展開に。海外時間に入ると、米下院選で共和党が多数派を獲得する見方が強まっている事や、トランプ次期大統領の政権人選で対中強硬派の選出が噂され、米金利の上昇を横目に底堅く推移し、154.92まで上昇。11/13についても、トランプトレードが加速する中、ドル買いが進み、155.50まで上昇。11/14は、前日発表された米10月CPIが市場予想通りとなったことを受け、トランプトレードが継続する中、156.13まで上昇。海外時間、パウエル議長が「利下げを急ぐ必要性はない」との認識を示すと、12月会合での利下げ観測が後退し、156円台前半で揉み合いの推移。11/15は、加藤財務相より為替円安を巡り「行き過ぎた動きには適切な対応を取る」とのスタンスが示されたことを受け、155円台後半で揉み合いの推移。海外時間では、米国10月小売売上高が市場予想を上回ったことを受け、155円台後半に利下げ観測が押し上げられ、156円台後半で揉み合いの推移。市場参加者は今後日銀の金融政策を注視する。

今週の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：32.300-32.700

今週のドル/台湾ドルは揉み合いながら底堅く推移する予想。重要イベントを通過し、トランプ氏の政策動向やインフレ指標に注目が集まる中、米国市場の優位性は引き続きドルをサポートする予想。また、直近外資による台湾の売り越しが台湾ドルの上値を抑え、ドル/台湾ドルは緩やかに上昇するだろう。

■USD/JPY 予想レンジ：153.00-157.00

今週のドル/円はレンジ推移する予想。トランプ・トレードによる米金利上昇はドルを支える一方、日銀の金融政策にも注目が集まりそうだ。

今週の予定

11/18 (MON)	日9月機械受注
11/19 (TUE)	米10月住宅着工件数
11/20 (WED)	日10月貿易収支、徳10月PPI、英10月PPI
11/21 (THU)	米10月中古住宅販売件数
11/22 (FRI)	日10月CPI

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。